



山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和5年7月7日発行

第10号 校長 武藤 雅雄

黎明祭（しののめさい）の軍が決定！ 6月27日

生徒朝会で黎明祭（体育祭）の軍と色の抽選がありました。各学級の代表が、1年生から順に抽選を行いました。今年度は3年生の3学級に合わせて3軍となります。そのため、1・2年生は、2つのクラスが同じ軍になる色があります。

3年生の抽選には応援団長が参加し、場を大いに盛り上げてくれました。今週から応援リーダーやパネル系の活動が始まり、黎明祭に向けた取組が進んでいきます。



	黄軍	青軍	赤軍
3年	1組	2組	3組
2年	2組・4組	3組	1組
1年	1組	2組	3組・4組



SNS 安全防犯教室 6月22日

少年サポートセンターの方から、SNSの危険性について、具体的なお話をお聞きする安全防犯教室を行いました。

生徒の振り返りを紹介します。

- 過去の書き込みが未来に影響する。
- ネットに載せられるのは、玄関に貼ることができるものだけ。
- ネットの文字だけのやりとりは誤解が多くなる。大事なことは実際に会って話す。
- 本当に大丈夫なのか。今後に影響は本当はないか。よく考えてネットを使う。
- なりすましは知らない人が友達やいい人のふりをするから、被害者がとても大きい。



講演会后、講師の皆様から山中生へのお褒めの言葉をいただきました！

- あいさつがよい。「元気がいいですね」
- 資料を見て自分たちで話し合う場面で「反応がいいですね」
- 他の学校はザワザワするとうるさくなる。「山中生は話を聞く場面で集中できますね」
⇒「きっと普通の授業でも、今日のような姿があるから、全校でもできるのですね。」

山中を語る会 6月30日

生徒会本部の生徒12名、PTA役員4名、学校運営協議会の委員4名が参加しました。中学生3名と大人2名が1グループとなり、話し合いを行いました。テーマは、「生徒の思い 地域の思い～山中を地域活性化の拠点にしよう～」でした。生徒は話し合いを通じて、山中のよさを再認識したり、地域の願いや思いを知ったりすることで、改めて



地域貢献や地域の活動への参加について考える時間になりました。参加者全員が振り返りで、「山中を語る会をやってよかった」と回答しました。生徒の感想を紹介します。

- あいさつで地域の人たちがうれしいと思っていることが分かった。これからも積極的にあいさつをしようと思う。
- 昔に比べて今の山中の方がよくなっていると分かった。これまで、先輩が積み上げてきてくれた伝統のお陰だと実感した。
- 地域で様々な活動があることが分かった。自分も積極的に参加しようと思った。

